



**トッキーの
市政トーク**

四日市市長
田中 俊行

皆さん、こんにちは！トッキーこと、市長の田中俊行です。

今回は、本市の学力向上の取り組みについてご紹介します。私が主宰する「総合教育会議」において、私と教育長および教育委員との間で、子どもたちの学力向上を図るための施策について議論を深め、先日、「四日市市学力向上アクションプラン」を策定したところです。

このプランは、「学びの質の向上」と「学びの環境の充実」の2

学力向上アクションプラン

つのアクションで構成されていますが、では、そもそも“学力”とは何でしょうか？

本市で言う“学力”とは、社会人になっても通用する問題解決能力の基礎となる知識や技能を意味しています。その“学力”をしっかり身に付けることによって、自ら考え、他者とも協働しながら問題や課題を解決していく力を育むことができると考えています。

具体的には、論理的思考力や表現力を高めるための「中学生スピーチコンテスト」、本市のさまざまな地域資源や企業人材を活用した体験学習、さらには、本市独自の

小1・中1の30人学級を生かした、わかりやすい授業など、「学びの質の向上」を目指します。一方で、教室のエアコンやICT環境を整備し、「学びの環境の充実」も図ります。

こうした本市独自の教育施策を展開し、「産業と文化の調和した、魅力と風格のあるまち四日市」を担う、グローバルな視点を持った人材を育成していきたいと思えます。



スポーツ功労賞 浅井康太選手(競輪)

四日市競輪場をメインバンクとし、昨年末に開催された「KEIRINグランプリ2015」で優勝した浅井康太選手(本市出身)が、先日、表敬訪問にきてくださいました。

「KEIRINグランプリ」は、トップレベルの競輪選手のみが出場できる競輪界最高峰のレースで、浅井選手は5回目の挑戦となる今回、初優勝を果たしてくれました。

この優勝を含み、浅井選手のこれまでの大きな功績をたたえ、当日、スポーツ功労賞を授与させていただきましたところ。

このように、本市出身の選手がスポーツの世界のひのき舞台上で活躍することは、市民に夢や希望を与え、本市のシティプロモーションにもつながることから、観光大使にも委嘱させていただきました。

スポーツ功労賞を受賞した浅井康太選手(右)



トピックス

農業生産現場(ブルーベリー農園)を訪問

先日、「四日市市農業経営者会議」のメンバーが営むブルーベリー農園を訪問し、先駆的な農業についての話を聴かせていただきました。

この農家では、カブやじゃがいもなどの露地野菜を市場を通して出荷していましたが、消費者の顔を見て、直接、声が聴きたいとの思いから、ブルーベリー狩りができる体験型の観光農園を平成26年にオープンしました。現在、5,000㎡の敷地の中に、東海地区最多の92品種、約1,000本のブルーベリーを栽培しています。

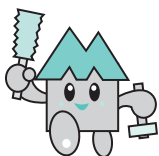
高齢化による担い手不足や耕作放棄地の増加など、農業は深刻な問題に直面していますが、加工や直販、観光型農業などの新たな分野に取り組む農家も増えており、市としても、できる限りの支援をしていきたいと考えています。



農園のオーナーから説明を受ける田中市長(中央)

有料広告掲載欄

建設職人なら誰でも入れる組合です



建労 四日市支部
随時加入者募集中

三重県建設労働組合四日市支部 四日市市ときわ5丁目1-8 ☎(059)354-1531(代)

三建国保

出産育児一時金(42万円)
葬祭費(本人10万円・家族7万円)
高額療養費、無料健康診断の開催
人間ドックに対する補助(3万3千円)
脳ドックに対する補助(2万円)など

組合独自の建設労働者の健康保険